



◆ 新刊書籍取扱のお知らせ ◆

手話通訳者の現状から見た 予防と患者支援について

立川 厚太郎

2017年4月3日発行予定

A5判 44ページ

定 価 / 800円 (税込)

編集・発行 /

一般社団法人全国手話通訳問題研究会



手話通訳は、視覚、聴覚などの感覚器や、上肢・下肢・腰部などの運動器を使って複雑な作業を行うことになり、常に身体を酷使しています。

実際に1990年代に手話通訳者の頸肩腕症候群が社会問題となり、それ以降は長時間の手話通訳業務を行わないように、複数の手話通訳者で通訳活動を行うように改善を行ってきましたが、実態はまだまだ改善されていないというのが現状です。

では、頸肩腕障害や他の病気にならないように通訳活動をするうえでどのようなことが病気に繋がるのか、何をすれば改善されるのか…。

本書では、医学的な部分からみた手話通訳時の脳の仕組みや身体の働きをわかりやすい図解付きで解説し、実際のレントゲン写真を基にした運動器疾患の解説などをはじめ、手話通訳に関連する病気とその予防法などを詳しく解説しています。

手話通訳活動を行ううえで必見の医学的用語や、健康管理方法が詰まった書籍となっていますのでこの機会にぜひお買い求めください。

立川 厚太郎 医師

悠遊健康村病院 主任医長
整形外科医 (立川総合病院元院長)
新潟県手話通訳問題研究会顧問
新潟県障害者団体連合会連理事長
新潟県障害者スポーツ協会会長
長岡市なぎなた協会会長など

目次

1. 手話通訳者の健康管理と問題点
2. 手話通訳者の雇用状況
3. ブロードマンの脳地図
4. 脳の運動野
5. 脳と脊椎と運動器
6. 頸肩腕障害の予防
7. 上肢・腰部の運動器疾患
8. 下肢の運動器疾患
9. 健康管理
10. 日本の障がい者の現状と施策
11. インクルーシブな社会

お申込は、全通研各支部 または一般社団法人全国手話通訳問題研究会 事務所へ

<全通研事務所> 〒602-0901 京都市上京区室町通今出川下ル 繊維会館内 TEL : 075-451-4743 Fax : 075-451-3281